

令和4年度地方創生拠点整備交付金事業評価書

担当課: 体育施設整備課

1 事業概要

事業名	東町運動公園体育館集客力向上プロジェクト					
総合戦略における位置付け	基本目標	II 新たなひとの流れを生み出す				
事業目的	本体育館は、中心市街地からアクセスが良く、日本三名園の一つである偕楽園に近接するなど、恵まれた立地環境にあることから、高い利便性、潜在的な集客力を備えた施設である。多様な利用者ニーズに応えるため、必要な改修を行い、魅力ある都市型のアリーナとして機能を充実させることにより、スポーツにとどまらない幅広い利用を促進し、施設の稼働を高めていく。本施設を核として、地域全体の交流人口の拡大を図るため、プロスポーツチームを通じた地域間交流の促進に加え、これまで開催のなかった分野においてもコンベンション誘致活動を積極的に展開しながら、集客力の高い施設として、ブランド力や付加価値を更に向上させていく。					
事業期間	2020(令和2)年度～2024(令和6)年度					
事業費(千円)	総事業費	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度	2022(令和4)年度	2023(令和5)年度	2024(令和6)年度
交付金対象	148,500	65,180	83,320	0	0	0
交付金(交付率50%)	74,250	32,590	41,660	0	0	0
事業内容	東町運動公園体育館へのコンベンションの誘致を推進するため、体育館メインアリーナに多様な懸垂物を吊るすことができるトラスフレーム及び日本最大級の大型映像装置等を設置し、迫力ある演出効果を生み出せる魅力ある施設として、スポーツにとどまらない幅広い利用の促進を図ることにより、多様な交流、にぎわいを創出し、まちなか全体の活性化につなげていく。					

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況と評価

(1) KPIの達成状況

KPI項目	基準値 2018(平成30)年度	目標値 2022(令和4)年度	実績値 2022(令和4)年度	【参考】目標値 2024(令和6)年度
1 東町運動公園体育館来場者数(千人/年)	196	211	254	226
2 観光交流人口(千人/年) ※市内全域	3,676	4,171	2,045	4,660
3 誘致活動によるコンベンション開催数(件/年) ※市内全域	146	162	58	170
達成率平均値 (実績値-基準値)/(目標値-基準値)			-164%	達成度 地方創生にあまり効果が見られなかった

(2) 評価

評価
コンベンション等の誘致を推進するため、令和3年度にトラスフレーム及び大型映像装置を整備した。また、令和4年度には、東町運動公園体育館機能向上事業として、メインアリーナセンターコートに新たなLED照明を設置するとともに、会議室等にWi-Fi環境を整備した。来場者数については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に応じた観覧者の人数制限等があったものの、スポーツ大会の開催数等の増加により、目標値を上回る結果となった。しかしながら、コンベンションの開催数については、目標値に大きく届いていない。今後については、新型コロナウイルス感染症の5類移行によりスポーツ大会やコンベンション開催の機運が高まることから、積極的な誘致活動を推進していく必要がある。

3 今後の取組

方針	主な取組
事業を継続する	新型コロナウイルス感染症の5類移行によりスポーツ大会やコンベンション開催の機運が高まることから、大規模大会やイベント等の開催に向けた施設利用の調整を積極的に行うとともに、スポーツにとどまらない幅広い利用の促進を図ることにより、にぎわいの創出や、まちなかの活性化につなげていく。